

健康保険 被保険者家族 出産育児一時金支給申請書

直接支払制度を利用しない場合
又は 海外で出産した場合

被保険者が記入するところ	被保険者証の記号番号	記号 〇〇〇〇 番号 〇〇〇〇	被保険者資格取得日	平成26年 4 月 1 日	被保険者資格喪失日(喪失後の場合)	年 月 日
	被保険者(申請者)氏名	フリガナ ケンボ タロウ 健保太郎	被保険者(申請者)住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町1-1-1		
	生年月日	昭和51 年 7 月 31 日	電話	〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇		
	事業所名及び部署	ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社 △△△部	電話(内線)	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 (内線〇〇〇)		
	被扶養者の出産である場合はその者の氏名	健保花子	生年月日	昭和50 年 8 月 31 日	被保険者と出産した者の続柄	妻
	出産した年月日	令和1 年 5 月 1 日	生産児数	1 人	死産児数	人
	出産した医療機関等の名称・所在地	〇〇〇産婦人科病院	(所在地) 〒	〇〇〇-〇〇〇〇 神奈川県〇〇市〇〇1-2-3 電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇		
	出産した医療機関の産科医療補償制度加入の有無	有・無	海外で出産した場合はその旨			
	出生児の氏名	フリガナ ケンボ ケンタ 健保健太	被保険者と出生児の続柄	長男	出生児が被保険者の被扶養者であるかどうか	有・無
	①被保険者が資格喪失後6ヶ月以内の出産で申請する場合、現在の保険証の保険者名・記号番号等ご記入ください。		保険者名(国民健康保険又は、健保組合名など)	電話	該当者のみ	
②被扶養者が認定後6ヶ月以内の出産で申請する場合、以前加入していた保険証の保険者名・記号番号等ご記入ください。		記号		証明欄		
			被保険者氏名(世帯主名)			

※医師・助産師又は市区町村長が証明する欄はどちらか一方で証明を受けてください。		(※海外で出産した場合、証明欄の記載証明は省くことができます。添付書類A、B提出してください。)			
医師・助産師の証明欄	出産年月日	年 月 日	生産又は死産の別	生産・死産(妊娠第 月又は第 週)	
	出生児の数	単胎・多胎(児)	備考		
	上記のとおり相違ないことを証明		年 月 日		
医療施設名の名称・所在地		医師・助産師名			
市区町村長の証明欄		本籍	市区町村長名		
出生届出日		年	市区町村長名		
上記のとおり相違ないことを証明		年 月 日			

支払金融機関	三井住友 銀行 本店 飯田橋 支店 普通 当座
	名義人(フリガナ) ケンボ タロウ 口座番号 〇〇〇〇〇〇

※被保険者名義の口座を必ずご記入ください

備考欄	個人番号(被保険者証の記号番号を記入した場合は記入は必要ありません)
※マイナンバーをご記入いただいた場合は、個人番号確認、身元確認のため、以下の書類を添付してください。 ①通知カードのコピー(表面) ②個人番号記載の住民票の写し ③個人番号カードのコピー(両面)のいずれか1点 ・上記①または②を添付の場合は、運転免許証のコピー 又は パスポートのコピー のいずれか1点	

(ご注意) ※ 医師・助産師による週数の証明がない場合は、母子手帳の記載ページの写しを添付してください。

- 《添付書類》 ① 医療機関等との合意文書の写し(申請先の保険者が当組合である旨を記載したもの)
② 分娩機関が発行する領収書のコピー(産科医療補償制度加入医療機関等においては証明するスタンプが押されたもの)

《海外で出産した場合の添付書類》

- A) 医療機関または公的機関等で発行された出産の事実を証明するもの
B) 上記証明書の日本語訳(翻訳者の住所、氏名が記されているもの)

年 月 日提出

受付日付印

※生産の場合でも、必ず週数をご記入ください。